

第1回柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会議事録

日 時	平成28年6月1日(水) 午後3時から午後4時30分
場 所	柏原市役所別館3階 フローラルセンター会議室
出 席 者	<p>(柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○石橋委員 (柏原市政策推進部) ○石村委員 (パナソニックサイクルテック株式会社) ○大村委員 (市民) ○重森委員 (関西福祉科学大学) ○杉山委員 (株式会社りそな銀行柏原支店) ○谷委員 (柏原市労働組合協議会) ○己波委員 (柏原市こども未来部) ○森下委員 (大阪教育大学) ○山田委員 (JA大阪中河内農協) ○脇田委員 (柏原市にぎわい都市創造部) <p style="text-align: right;">(50音順)</p>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ○瀬田 政策推進部次長兼企画調整課長 ○山本 企画調整課長補佐 ○峯 企画調整課主任 ○大井 柏原市商工会事務局長
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・委員及び事務局の紹介 ・委員長及び副委員長の選出について 2 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 推進委員会開催の目的とスケジュールについて (2) 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と効果検証について (3) 地方創生推進交付金(新型交付金)について 3 その他 4 閉会

1. 開 会

	<ul style="list-style-type: none"> ○委員会成立報告 委員10名全員出席により、推進委員会規則第5条第2項の規定に基づいて、委員会が成立していることを報告。 ○委員及び事務局の紹介 ○委員長及び副委員長の選出 委員長：石橋委員 副委員長：脇田委員
--	---

2. 議 題

委員長	開会挨拶 ・「柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、昨年度策定完了した。平成28年度からは、そのローリングとして検証し、新たに展開していく部分もあると思うが、審議をよろしく。
事務局	【資料確認】 会議次第 資料1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について 資料2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会スケジュール 資料3 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 進捗状況一覧表 資料4 市の現況について（人口の推移等） 資料5 地方創生推進交付金（新型交付金）の概要 参考資料 子育てほっと情報 参考資料 柏原市統計書（2015年版） 以上。
委員長	【議事進行】 （1）推進委員会開催の目的とスケジュールについて
事務局	（事務局 説明） 資料1 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会について 資料2 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会スケジュール
委員長	・ただいまの目的、スケジュールについての事務局の説明に対し、何かご意見ご質問があれば、どうぞ （意見、質問なし） ・提示されたスケジュールでいけば、次回は1月か2月に開催し、それまでにはメール等により、情報の共有を行う予定。
事務局	（2）柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況と効果検証について （事務局 基本目標ごとに説明） 資料3 柏原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI 進捗状況一覧表
事務局説明	《基本目標1 子育て環境ナンバーワンのまち かしわら》 ・全体的に、事業の取組が進んでいない状況で、目標達成には時間を

	<p>要する部分もあるが、各担当課とともに取組を推進していきたい。</p>
委員長	<p>・説明について、質問はないか。</p>
A 委員	<p>・達成状況を見ていると、「×」と表示された未達成の項目が多いが、平成 31 年度までの期間で達成状況を見ていくのか、単年度ごとに続けていくのか、確認したい。</p>
事務局	<p>・平成 31 年度には目標値に達するという考え方であるが、報告は単年度ごとにその時点の進捗状況を報告する。目標達成までそのまま進めていくのか、方向転換等が必要なのかを、会議で確認させていただきたい。</p>
委員長	<p>・数字の見方として、積み上げていって到達するという考え方と、毎年レベルを見ていくという考え方があるが、どう見るのか。</p>
事務局	<p>・項目により、単なる件数を見るものと累積を見るものといった違いが多少あるが、基本的には 5 年後にできるだけ多くの項目について数値が達成しているということを考えている。</p>
A 委員	<p>・5 年のプランとしての進捗状況の見せ方と、単年度で実施したことによる成果の見せ方の両方が見られる方が良いと思う。分かりやすい見せ方を工夫されたい。</p>
B 委員	<p>・5 年後の 31 年度に達成してほしい目標値ということで、「×」という表現ではなく、現段階の状況の報告があれば良いと思う。逆に大学との連携のところに注目すると、すでに 31 年度の目標は達成してしまっているのでは、その場合に軌道修正として目標値を修正することの議論があってもいいのではないか。</p>
委員長	<p>・その通りだと思うので、そこの数値の修正はできるのか。</p>
事務局	<p>・できるものと考えている。</p>
委員長	<p>・見せ方は、この資料 3 のままか。</p>
事務局	<p>・「○」、「×」、「△」というのは、印象付けとして良くないので、表現と見せ方を考えて、修正させていただきたい。</p>
C 委員	<p>・この会議は前年度から始まって、先行として事業は行われているが、</p>

	<p>会議を進めながらやっていくことなので、まだ初段階だから「×」が多いということか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備のような積み重ねの目標値であれば、累計により伸びていくだけだが、例えば「参加人数」のような目標値となると、増えたり減ったりするので、指標の中でも分かりやすく表現を変えていかないといけないと考える。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援サービスのつどいの広場は、純粹に延べ人数だけであるが、子ども自体の数は減っているので、分母が必要。何%が来てくれているという表現するほうがよい。子ども自体が減少している中では、利用者が横ばいだったとしても、上出来と考える。 ・保育所の民営化については、これも31年度を目標に2園ということであるが、1園民営化するのに最低3年かかるので、達成するためにかかる年数も、一般の方にも分かるような書き方にしてもらいたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今、基準値や目標値に関して提案があったが、変更することは可能か。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・可能と考えている。指摘いただいた点は再度精査し、KPI の設定方法や考え方を追加して再作成し、委員に確認していただく。
事務局説明	<p>《基本目標2 働きやすいまち かしわら》</p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・指標「大学と連携した合同会社説明会参加者数」にあたる事業について、詳細が分かれば教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市内2大学、柏原市、大阪労働局、柏原市商工会と、「雇用対策協定」を締結し、それに基づき色々な事業を展開していく中の1つに計画的に盛り込んでいる。具体的には、これから動いていく。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップは盛り込まれるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・企業との調整があるので、それも含めて考えていきたい。
事務局説明	<p>《基本目標3 住みたい 住み続けたいまち かしわら》</p>
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「フェイスブックの「いいね」の数」について、SNSというのは流行りすたりが激しく、今後5年間でどの程度インターネットの状況が変化するか分からないし、10代のフェイスブック離れが進んでいる

委員長	という記事も見受けたので、目標値がどうなのか気になる。 ・基準自体が問題なのか、数値としての目標値が高すぎるのか、両方のことを言っていると思うが。
C 委員	・目標値が少し高いのではないかと個人的に考えている。
事務局	・担当課と確認し、目標値等について検討する。
E 委員	・内容や項目によって全然違うし、社会環境も変わるので、見直しは必要と考える。
事務局	・平成 27 年度の交付金事業であったこともあり、そのままの目標値である。委員からも指摘のあったように、フェイスブックというツール自体も今後どうなっていくか分からないので、目標値について検証していく。
事務局説明	《基本目標 4 暮らしやすいまち かしわら》 《先行型交付金単独 K P I 検証》
E 委員	・具体的な施策「地域を支える公共交通網の作成」における指標について、対象となる学校には幼小中あると思うが。
事務局	・小学校と中学校である。幼稚園については、保護者同伴で循環バスを利用する形となる。
委員長	・それでは、昨年 1 年間の取組により市の状況にどのような変化があったか、市の現況の報告をお願いします。
事務局	(事務局 市の現況について説明) 資料 4 市の現況について (人口の推移等)
A 委員	・人口の減り方が 5 年後の状況になっているということで、資料 3 には色々な事業、K P I があるが、重要、最重要ということが方針の中でしっかりと決められているのかどうか確認したい。芳しくない人口減の状況で、何が一番というのは判断が難しいとは思いますが、それをやらないとなかなか人口減を止められないという状況があると思う。
E 委員	・5 年間やる中で、どうしたら人口が増えるのかということを考えな

委員長	<p>がら、目標を達成するだけでなく、継続することが重要なので、そのもとで事業に協力していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・市は、次年度の事業について、夏ぐらいに企画を練り、その中で採択されたものが予算化に向けて動いていくので、優先順位を考える際に、この委員会で頂いた意見を十分に参考にしてもらいたい。・人口については、V字回復にならないまでも食い止めて、できれば上向きになればと思うが、このまま黙って見ているわけにもいかないので、この総合戦略を当然推進していくという方向性が対処になるが、それに加えて何か方法がないか事務局で検討しているということなので、それについて説明していただく。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・総合戦略の進捗状況と人口の現状を説明し、委員からご指摘いただいたように、実施に至っていない事業等まだまだ多いので、まずは総合戦略に位置付けた事業の実施とK P I の達成に向けた取組を優先し、さらに何が重要か、何をすることで減少を食い止められるのかをさらに考えていきながら事業課との調整も進め、精査をしていきたい。・また、新たな展開をしていけるものがないか検討しており、その1つ目として、観光振興の推進により交流人口を増やし、それをきっかけとして定住移住に繋がる事業を検討している。なかでも、昨年実施した「自転車の聖地かしわら事業」から、イベント参加者の状況、市内における自転車愛好家の活動、ふるさと納税における自転車の状況を踏まえ、自転車を活用した事業を検討している。・もう1つ、転入は増加しているが、それ以上に転出も増加しているので、もともと掲げている転出抑制が見られないことから、「三世代がよりそうまちづくり」を基本方針として、柏原市で生まれ育った若者が市内で結婚、出産、子育てをし、その子どもがまた市内に住むというサイクルを目指していくことで、転出を抑制できるのではないかと考えている。そのために、雇用面や結婚、出産、育児支援が必要と考えており、総合戦略で掲げているような施策を展開することが急務ではあるが、実際にはまだまだ未実施なので、出来るだけ魅力を外部に発信していきながら、転出抑制に繋がる取組を検討していきたいと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・ただ今の説明では、主に2点、自転車を活用した取組と三世代にかかる取組について説明されたが、来年度取り組むということで良いのか、
事務局	<ul style="list-style-type: none">・国の新たな推進交付金が今年度提示されており、できればこの交付金を活用したいので、その場合は今年度実施していきたい。

委員長	<ul style="list-style-type: none">・もし今年度実施するという場合、その情報は、事前に委員に届くのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・随時、検討内容について委員にお知らせし、その都度ご意見をいただきたいと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・戦略自体について、具体的にどのように修正を加えていくのか、再度スケジュールを確認したい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・資料3の総合戦略の中身について、頂いたご意見をもとに施策の見直しや追加を考えていき、市の財源、交付金等、様々な要件を踏まえながら進めていき、そのたびに委員のご意見をお伺いしながら、最終的には総合戦略の改訂版を作成して委員に提示していきたい。
委員長	(3) 地方創生推進交付金（新型交付金）について
事務局説明	(事務局 資料5 地方創生推進交付金について説明)
委員長	<ul style="list-style-type: none">・本市では、第2次の申請を目指して事業の構築をしていくということで、さきほど2点説明のあった新たな取組の検討は、その申請に向けて進めていくということか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・2点を踏まえて、9月の2次申請を検討していきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・ハードルが高そうだが、しっかりと進めていただきたい。
委員長	【その他】 <ul style="list-style-type: none">・何か意見があればお願いします。
C委員	<ul style="list-style-type: none">・今後の情報共有については、どのようにしていただけるのか、わかる範囲でお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・本来であれば、委員にその都度参集いただいて、説明させていただき意見を伺うべきところであるが、総合戦略の進捗状況や改訂に向けた修正、さらには新たな取組を踏まえ、随時、委員にメールや資料の送付等によりご確認いただき、ご意見をいただきたい。そのやり取りをさせていただきながら、作業を進めていきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・今の委員のお尋ねは、こういう会議をもって検討してはどうかということかと思うが。

C 委員	・事務局の説明でいくと、来年2月まで委員会が無いという話なので、委員としてはその時期までどういう姿勢でいればいいのか。それと、広報に載っているイベントが、どの事業の一環で行なわれているかがわかりやすくなれば良いと考える。
委員長	・例えば、2月までの間でもう一回集まる必要があるという意見があればいただきたい。
B 委員	・学校では、この総合戦略にある課題を基盤にして、地域交流委員会等で、連携していくプログラムを考えている。その中で、色々連携している中で、どの事業が総合戦略に当たるのか不明確なため、各事業の担当部署がそれを把握していただければよいのではないかと。
委員長	・事業には、全て計画があり、その計画の中の位置付けとして、総合戦略に位置付けているものかどうかチェックするようになっているので、そういう意味ではチェックが入るが、日頃意識して仕事をしているかどうかは別の問題。ただ、総合戦略のために事業を行っているのではなく、事業本来の目的があって、それが総合戦略に位置付けされているかという違いになってくる。
B 委員	・柏原市の課題に対してこの総合戦略が成り立っているという解釈でいくと、この総合戦略が、ある意味柏原市の課題を集約していると考えており、大学ではマッチング作業をしており、そのまま進めて良いのか。
委員長	・例えば、市ではこれ以外に総合計画があるが、総合戦略はそれを推進するためのリーディングプロジェクトとしての位置付けになっているので、ある意味全てが戦略といえるが、ズバリの部分とそうでない部分もあるので、若干ニュアンスが変わってくる。
B 委員	・第4期総合計画が基盤と考えてよいのか。
委員長	・そこには、全ての事業が盛り込まれるようになっている。
A 委員	・根本的なことですが、今後この総合戦略についてPDCAサイクルをまわしていく中で、各担当で事業が進められていくが、この委員会委員の立ち位置として、ここでは大枠として確認していくのか、事業の細かい中身に対しても触れていくのか。
委員長	・両方考えていただきたい。実際に事業を選択して進めていくのは、

D 委員	<p>市の判断となるが、当委員会でいただいた意見が事業を進めていく際の選択肢の1つとなると考えていただければいい。</p> <ul style="list-style-type: none">・（修正した資料等について）メールで送付し意見をいただく連絡の取り方になれば、個別で意見を言い合う場がなくなるが、それでよいのであれば、次回会議の開催は1月か2月となるがよろしいか。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・この方向でよろしいか。 <p>（意見なし）</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none">・本日、提案や意見等をいただいた点を修正し、委員の皆様にもメールで送付させていただく。その後、必要に応じて日程調整を行い、会議を開催する予定で進めていく。会議開催の必要がない場合は、随時、委員の皆様とやりとりを行いながら、1月か2月に改訂版を報告させていただきます。
委員長	<ul style="list-style-type: none">・何も意見がなければ、本日の会議を終了させていただく。・貴重な意見を頂戴し、感謝申し上げます。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。